

農業食品分野におけるフランスの見本市主催者が来日し、記者昼食会を実施！

ーパリ・イル＝ド＝フランス地域の経済的魅力を知るー

パリ地域経済開発局とプロモサロン（フランス見本市協会パリ本部）は6月16日、都内のフレンチレストラン「KEISUKE MATSUSHIMA」にて、日本の各業界関係者のトップやジャーナリストの方々を招き、昼食会を開催しました。このイベントはパリ・イル＝ド＝フランス地域の経済およびこの地方の農業食品分野の見本市を、日本の業界団体の方々や業界紙・経済紙などのジャーナリストの方々に紹介する目的で行われました。

昼食会では、農業機器・食品・包装・レストラン関連の分野で主要な4つのフランスの見本市主催者たちが、これらの分野におけるフランスのイベントの豊かさについて紹介しました。また、各見本市の主催者と共に来日したパリ地域経済開発局国際営業部長とプロモサロンの会長も、パリ地域の経済面での魅力とプロフェッショナルの方々を対象にしたフランスの国際見本市についてアピールしました。

着席スタイルで行われた今回の昼食会は、各業界のオピニオンリーダーともいえる日本の業界団体・ジャーナリストの方々からも、深く掘り下げた話ができたと好評価をいただき、プロフェッショナル同士の質の高い意見交換会となりました。また、会場となったレストランのオーナーシェフである松嶋 啓介氏とフランスで共に修行し、現在は東京店の料理長を務める長屋 英章氏は、出席者の方々に向けてスピーチを行い、発想豊かな料理を通じて自身のフランスに対する特別な想いを語りました。このスピーチも出席者に高く評価され、フランスがガストロノミー（美食）の中心地であることの証となりました。

パリ・イル＝ド＝フランス地域には大規模国際見本市が集結

プロモサロン会長のオリヴィエ・メレリオ氏はフランスの見本市について、「フランスは年間450を超える国際見本市を開催しており、国際色豊かであることが特徴のひとつとして挙げられます。来場者の3人に1人、また出展者の50%がフランス国外から参加しています。世界を目指す日本企業にとって、フランスの見本市は真のビジネスプラットフォームといえるでしょう。」と述べました。

パリ地域経済開発局国際営業部長のフレデリック・ドゥ・バスト氏は、パリ地域の経済のダイナミズムを紹介しました。ドゥ・バスト氏は、「フランス経済の中心地であるこの地域は1,200万人の消費者を持つ市場であ

り、全ての製品がこの地域を經由します。」と述べました。また、日本の出席者の方々はフランス首都圏面積の半分が農地であることに驚き、この地方の農業の豊かさを再確認しました。

プロモサロンの専務理事コリンヌ・モロー氏は、フランスの見本市への日本からの参加者の重要性について「地理的・文化的な距離感に関わらず、毎年日本から 16,600 名の来場者・560 社の出展者がフランスの見本市に参加しています。」と述べました。また、フランスの産業見本市の費用対効果を強調し、出展者による 1 ユーロの投資は、見本市参加後 10 ヶ月で 10 ユーロの売上高をもたらしていることを紹介し、「国際的なビジネスの発展を望む日本企業に、より多くのフランスの見本市に参加してほしいと思っています。」と呼びかけました。最後に「東京で、すでに 45 年間活動してきたフランス見本市協会日本事務所は、フランスの見本市への参加を希望する日本のプロフェッショナルの皆様へ、出展・来場のサポートをさせていただくので、頼りにしていただきたいです。」と語りました。

各主催者による農業食品分野の見本市の紹介

今回のイベントでは、農業食品分野でリーダーともいえる主要な見本市の主催者たちが、日本のオピニオンリーダーの方々と意見交換し、将来について話し合いました。

農業・酪農分野でのサプライヤーが集まる国際見本市、シマ（SIMA）展は、より高く、よりよい生産性を目指して、農業機器業界の技術革新を前面に押し出しています。シマ展の広報部長であるカリーヌ・ルロワ氏は、「次回展はソリューション指向を強め、『10 年後の農業』を重要なテーマに未来へと舵を切ります。」と述べました。ルロワ氏は最後に、出展・来場双方における日本の業界関係者の重要性を強調し、2017 年 2 月 26 日から 3 月 2 日の次回シマ展への参加を呼びかけました。

食品・飲料見本市シアル（SIAL）ネットワークの広報部長であるネリー・バロン氏は、食品見本市の世界一のネットワークには、日本企業が数多く参加していることを紹介しました。また、この見本市では、食品における新製品・新技術に出会える点を強調し、「2016 年 10 月のシアル・パリ（SIAL Paris）展では 7,000 社を超える企業が出展し、日本はジェトロ（日本貿易振興機構）による支援もあり年々参加規模が拡大されていま

す。」と述べました。最後に、その製品提案の多様性と、見本市に参加することで業界の最新トレンドをキャッチできる点に触れ、「日本の業界関係者の方々がシアル・パリに来場し、新しい何かを発見してほしいと思っています。」と訴えかけました。

GL イベント社のフードサービス部門ディレクターであるマリー＝オディール・フォンドゥール氏は、製パン・製菓国際見本市のユーロパン&アンテルシュック（EUROPAIN&INTERSUC）展と国際外食産業見本市



シラ（SIRHA）展を紹介しました。これらのイベントには、毎回日本人業界関係者がフランスのトレンドや、革新的な技術や新製品を探しに来場します。クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・ブーランジュリー（パン職人のワールドカップ）、モンディアル・デ・ザール・シュクレ（パティシエの国際コンクール）、ボキューズ・ドール（シェフの世界的コンペティション）、クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー（パティシエのワールドカップ）など、各見本市の開催期間中に行われる有名なコンクールを通して、フォンドゥール氏は日本代表チームが各コンクールで素晴らしい成績を残し、毎回これらの国際コンペティションの舞台上で活躍していることを称賛しました。

プレゼンテーションの最後を飾ったのは、包装関連の国際見本市オールフォーパック（ALL4PACK）展の広報部長であるオレリー・ジューヴ氏でした。ジューヴ氏は、次回展では生産チェーンの全てを統合するという背景の下、パリ国際包装展とパリ国際物流展である、アンバラージュ（EMBALLAGE／パリ国際包装展）展とマニュタシオン（MANUTENTION）展が、相互に補完し合う関係であることを再確認し、包装・食品加工・印刷・マテリアルハンドリングの4つの分野全てのグローバルマーケットとして、包括的な展示会オールフォーパック展へ一新することを強調しました。この進化の過程にある次回展では、特に新製品にフォーカスします。パッケージデザインの世界的コンペティションである「ペントアワード」とコラボレーションし、26カ国から選出された100の素晴らしい製品を展示する「エキシビション 10/10」を開催する予定です。日本人デザイナーや日本ブランドの作品も多く展示される予定で、包装分野における日本の創造性を証明する良い機会となるでしょう。



農業食品分野における日本の業界団体・ジャーナリストの方々には、これらのプレゼンテーションを通してパリ・イル＝ド＝フランス地域の経済のダイナミズム、フランスの国際産業見本市の強み、投資に対して期待以上のビジネスを創り出すこれらの見本市の費用対効果の高さについて、理解を深めていただくことができました。また、フランスの国際産業見本市が各業界における世界のトレンド・技術革新のショーケースであることを改めて認識していただきました。広報活動の一環である今回の昼食会を通

して、常に技術革新を追い求めている日本の業界関係者の、今後のフランス国際産業見本市への来場・出展につながることを期待しています。

フランス国際産業見本市のご案内

- ・シマ/シマジエナ：農業と酪農業界サプライヤーの国際産業見本市－2017年2月26日～3月2日

開催予定

- ・ **シアル・パリ**：世界最大級の総合食品・飲料展－2016年10月16日～20日開催予定
- ・ **ユーロパン&アンテルシュック**：製パン・製菓、アイスクリーム、チョコレート、砂糖菓子の国際産業見本市－2018年2月開催予定（日付未定）
- ・ **シラ**：ホテル・飲食店業界の国際見本市－2017年1月21日～25日開催予定
- ・ **オールフォーパック**：包装、食品加工、印刷、ハンドリングの国際産業見本市－2016年11月14日～17日開催予定

フランス見本市協会（PROMOSALONS）について

フランス見本市協会（PROMOSALONS）はフランスで1967年に創設され、フランス産業見本市の国際的な広報活動を行っている唯一の世界的ネットワークです。世界に55の拠点をもち、その活動範囲は120ヶ国に及びます。自国とフランスの文化に精通した各拠点のスタッフが、見本市主催者には現地の市場に関する知識を提供、各国の現地企業・団体には、適切な広報活動とマーケティングを行い、フランス産業見本市の発展に寄与しています。*現在、来場者数上位トップ20のうち15の見本市に携わり、全体の67%を占めるフランス国外からの来場者誘致に成功しています。フランス見本市協会日本事務所(PROMOSALONS JAPON)は1971年に東京に開設されて以来40余年にわたり、日本の業界関係者の方々を対象に、フランスで開催される国際的な産業見本市の広報活動を行い、来場者や出展者の支援を行っています。

*OJS（フランス統計認定事務局）資料より

パリ・リージョン・エンタープライズ（パリ地域経済開発局）について

パリ・リージョン・エンタープライズ（パリ地域経済開発局）はパリ・イル＝ド＝フランス地方議会、パリ・イル＝ド＝フランス地方商工会議所、フランス公的投資銀行（BPI）やフランス政府によって2014年7月に創設され、フランス企業やフランス国外の企業のビジネス発展をサポートしているフランスパリ・イル＝ド＝フランス地方の機関です。

公式HP：<http://parisregionentreprises.org/en>

パリ・リージョン・エンタープライズ国際営業部長

フレデリック・ドゥ・バスト

Tel：+33 1 75 62 58 40

E-mail：frederique.debast@parisregionentreprises.org

本件に関するお問い合わせ先

フランス見本市協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-22 J Cビル2 F

TEL:03-6809-1650 FAX:03-6809-1681

E-mail: japan@promosalons.com Official HP: <http://promosalons.cc-town.net>

Facebook：<https://www.facebook.com/PromosalonsJapon>

オフィシャル Facebook 始めました！見本市に関する最新情報を発信していきます。